

第 39 回土木計画学研究発表会（春大会）：2009. 6. 13～14（徳島大学）

企画論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名：交通市場におけるコーディネーション政策	
日付： 6月 14日（日）曜日，セッション時間： 14:20 ～ 15:50	
オーガナイザー・司会者名（所属）：宇野伸宏（京都大学），松島格也（京都大学）	
討 議 内 容	<p>セッション全体：</p> <p>なぜ(特に交通市場における)コーディネーションが重要であるかについて，</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 囚人のジレンマ型ではなく協調の失敗型のゲーム的状况が交通問題において重要であること</li> <li>● 市場の失敗に対応するために，金銭的な解決法ではなく適切な制度を設計することが必要であること，が議論された。</li> </ul>
	<p>232 宇野伸宏（京都大学）：</p> <p>経路選択シミュレーションのメカニズムに関して，経路選択結果とそれが反映されるプロセスについて質問があり，ランダム項との関係について説明がなされた。また，経路選択問題をサンプリング問題として取り扱えるのではないかというコメントがあった。</p>
	<p>233 浅尾啓明((株)社会システム総合研究所)：</p> <p>ETC 導入にあたっての負の側面について質問があり，普及に伴ってレーンの渋滞などが発生していることが説明され，またカードデータを用いたこれらの克服策が検討中である旨回答があった。</p>
	<p>234 丁悦(京都大学)：</p> <p>カード企業や商店の参加インセンティブの扱い方について質問があり，当該部分のモデル構造について説明された。</p>
	<p>235 松島格也(京都大学)：</p> <p>サービス容量と需要との関係について質問があり，当該部分のモデルの仮定について説明がなされた。コンピュータブルに解を求める研究との対比として理論的研究の意義について質問があり，制度提案の重要性や異質性の源泉を指摘することの重要性が説明された。</p>
	<p>236 江尻良(JR 東海)：</p> <p>交通事業間のコーディネーション問題としてバス事業が今後重要となるのではないかというコメントがあり，今後進める予定との回答があった。</p>
	<p>237 小川幸裕(東京大学)：</p> <p>連成ゲームとしてとらえることの意義について，囚人のジレンマ型問題を調整の失敗型問題としてとらえることが出来る，とのコメントがあった。</p>

※発表件数に応じて適宜追加してください。